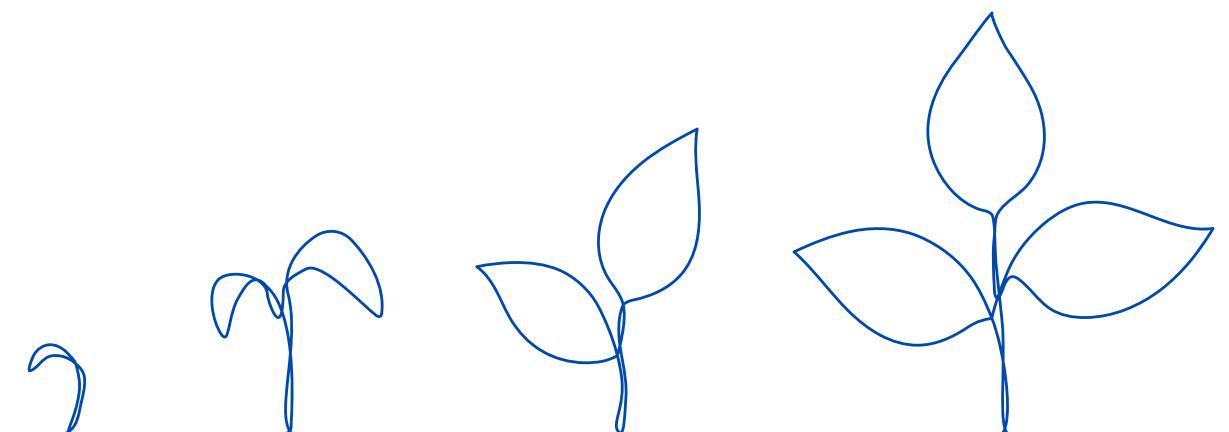




トレードルールの構築

基礎学習講座





はじめに



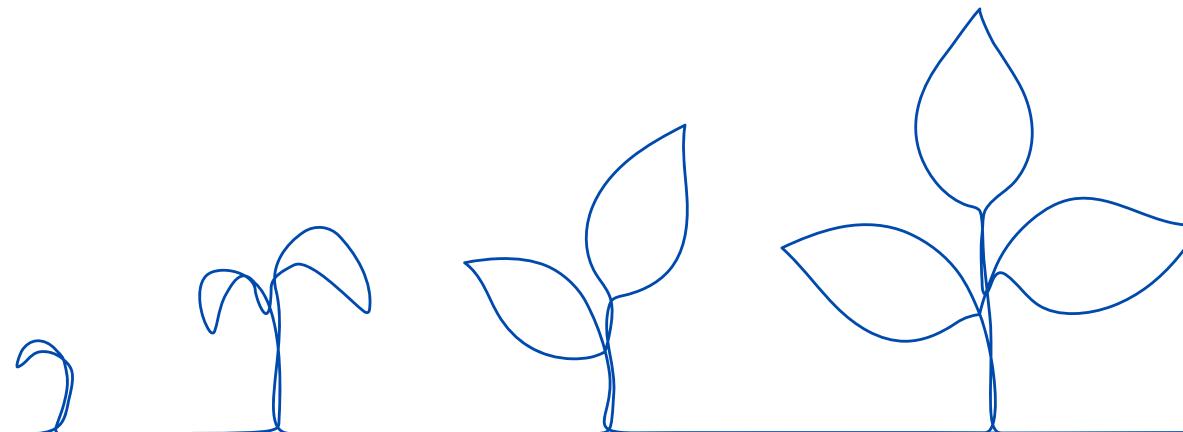
なぜトレードルールが必要なのか？

FXトレードにおいて

ルールを持たずに取引を行うのは地図なしで旅をするようなものです。

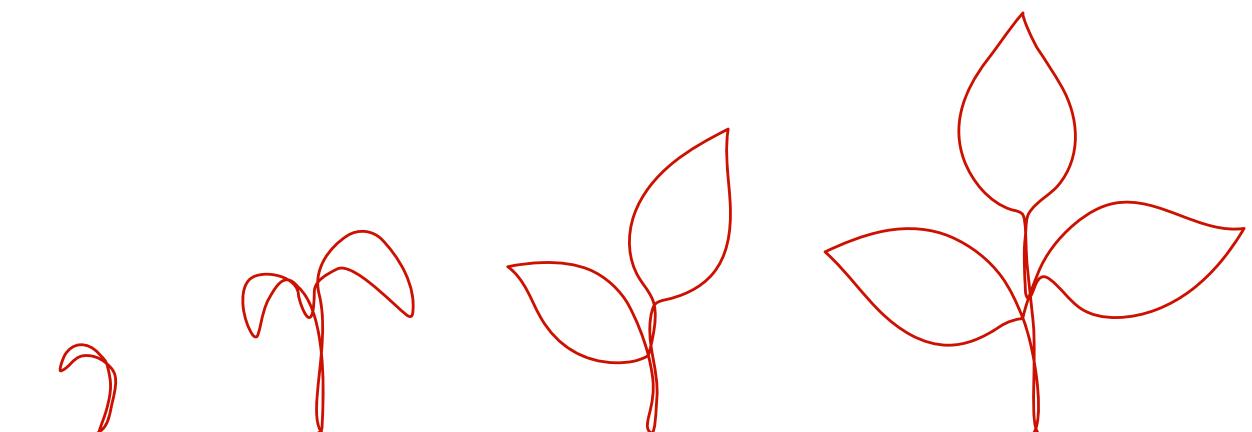
感情に流されることなく安定した取引を続けるためには

明確なルールが不可欠です。





トレードルールがあることで
得られるメリット





トレードルールがあることで得られるメリット

- ・感情的な判断を防げる

冷静な判断ができるようになり一貫したトレードが可能になる

- ・リスク管理がしやすい

損失を最小限に抑え資金を守ることができる

- ・トレードの精度が上がる

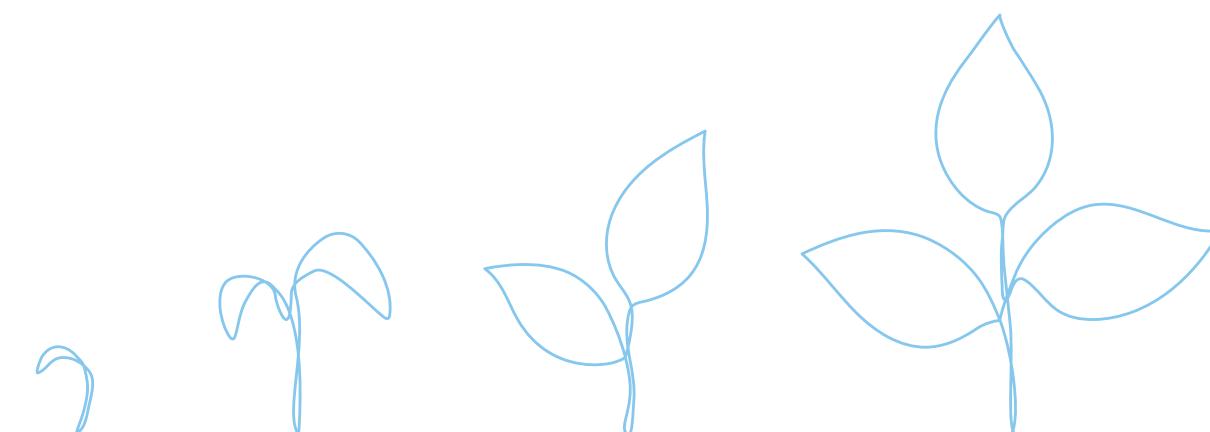
再現性のあるトレードができ利益を積み重ねやすくなる

- ・ストレスの軽減

事前に決めたルール通りに動くことで余計な心理的負担を減らせる



トレードドルールに必要な要素





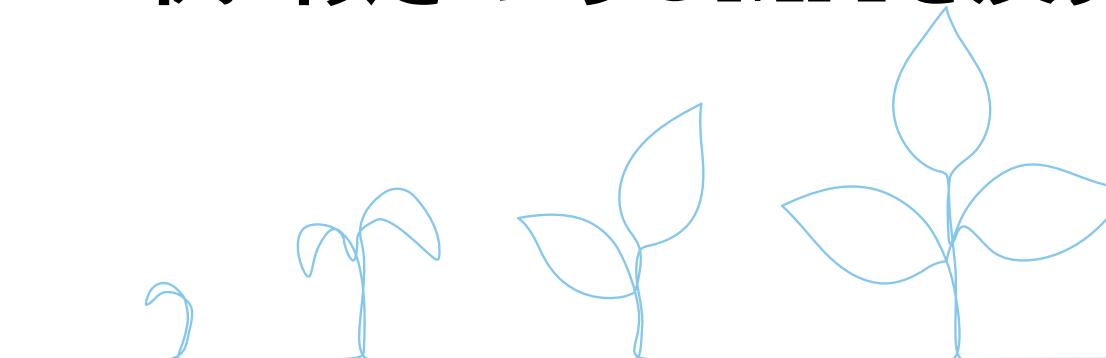
トレードルールに必要な要素



エントリーの基準

どのタイミングでエントリーするのかを明確に決めておきます

- ・ 例: 移動平均線がゴールデンクロスしたらエントリー
- ・ 例: RSIが30以下で反転の兆候が見えたたらエントリー
- ・ 例: サポートライン付近でプライスアクションが確認されたらエントリー
- ・ 例: 傾きのあるMAを反発したらエントリー





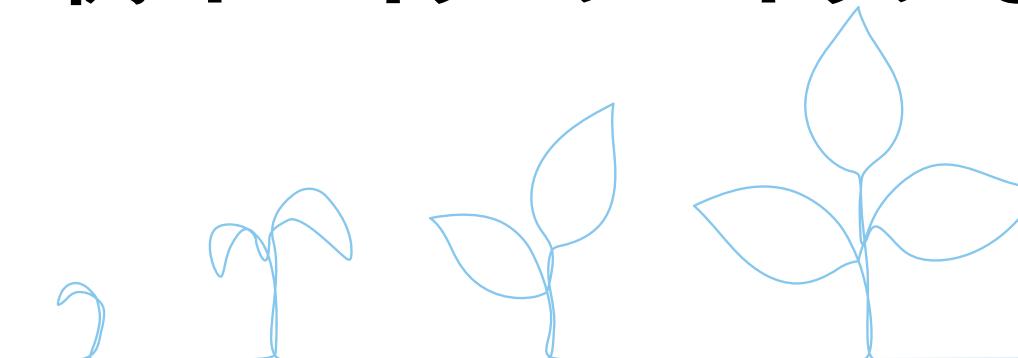
トレードルールに必要な要素



決済の基準(利確と損切り)

利益を確定するタイミングと損失を最小限に抑えるためのルールを決めます

- ・ 例:毎回同じ基準で損切りを設定(直近の高値や安値など)
- ・ 例:損失が資金の1%になったら損切り決済
- ・ 例:リスクリワードを1:1以上で設定
- ・ 例:トレイリングストップを利用し、利益を伸ばしながら決済





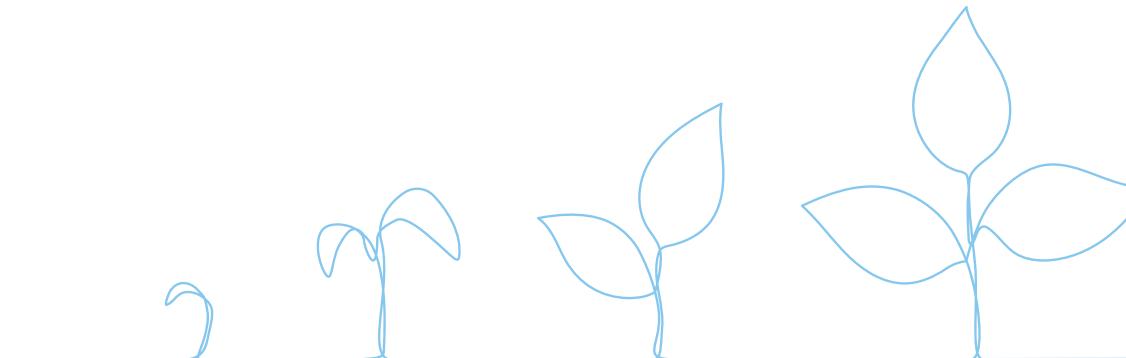
トレードルールに必要な要素



資金管理のルール

一回の取引でどれくらいの資金をリスクにさらすのかを決めます

- ・ 例: 1回のトレードで資金の1%未満をリスクにする
- ・ 例: 損失が資金の3%を超えたたらその日は取引を停止
- ・ 例: ポジションサイズを口座残高に応じて適切に調整





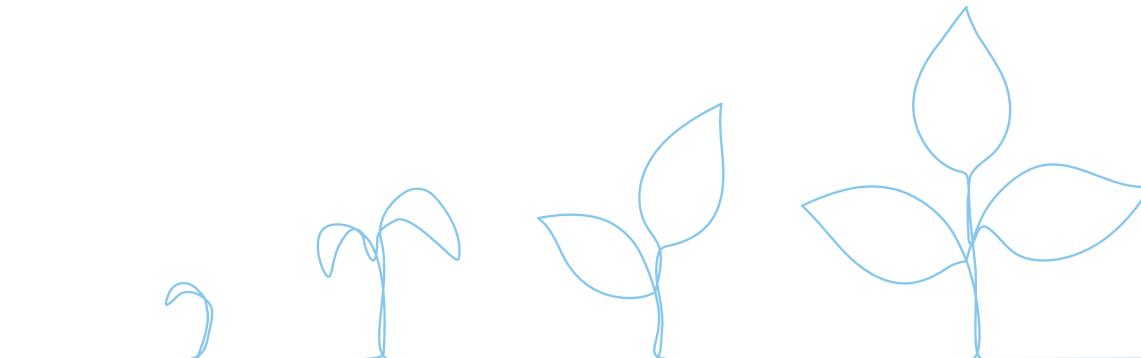
トレードルールに必要な要素



トレード時間帯

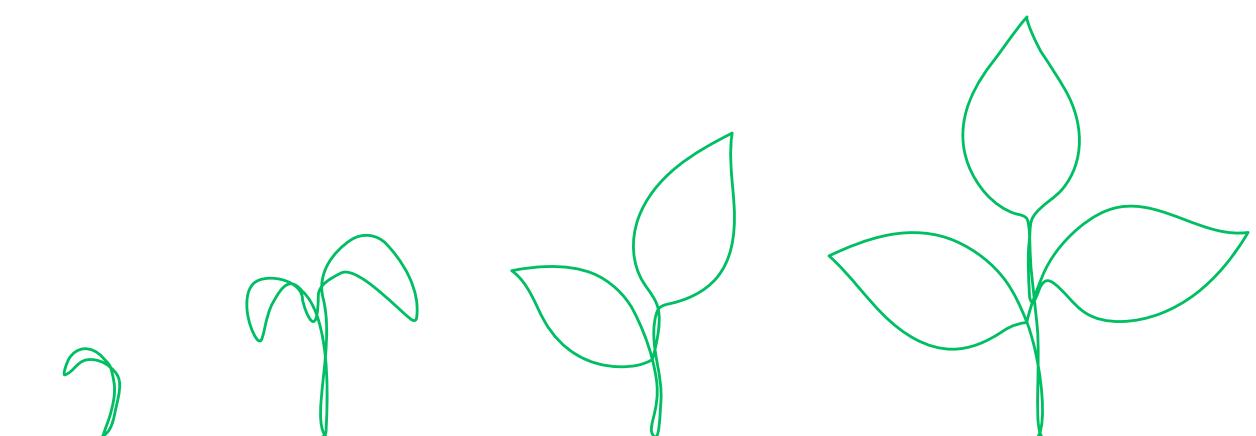
市場の流れに影響を与える時間帯を考慮し自分がトレードする時間を決めます

- ・例:ロンドン市場がオープンする時間に取引する
- ・例:ボラティリティが高い時間帯にエントリー
- ・例:ニューヨーク市場の開場直後の動きを利用する





トレードルールを 構築するプロセス





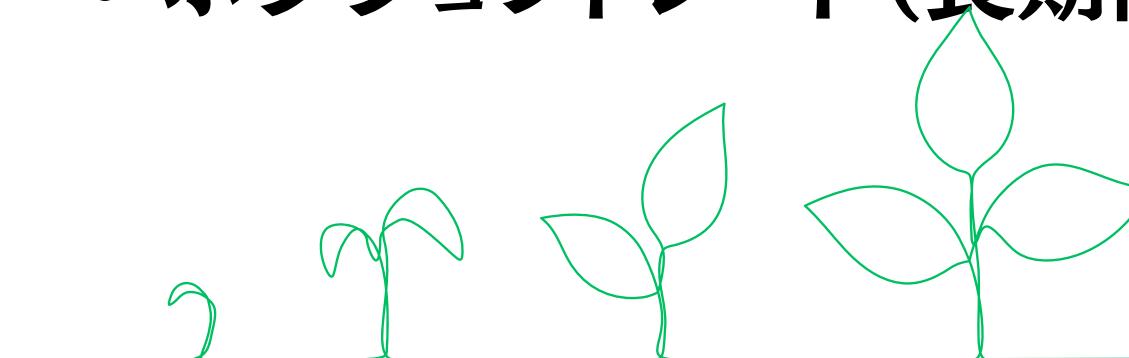
トレードルールを構築するプロセス



ステップ1:自分のトレードスタイルを決める

まず自分がどのようなトレーダーなのかを明確にします

- ・スキャルピング(短期間で小さな利益を狙う)
- ・デイトレード(1日の中で取引を完結させる)
- ・スイングトレード(数日～数週間ポジションを持つ)
- ・ポジショントレード(長期間ポジションを保持し大きなトレンドを狙う)





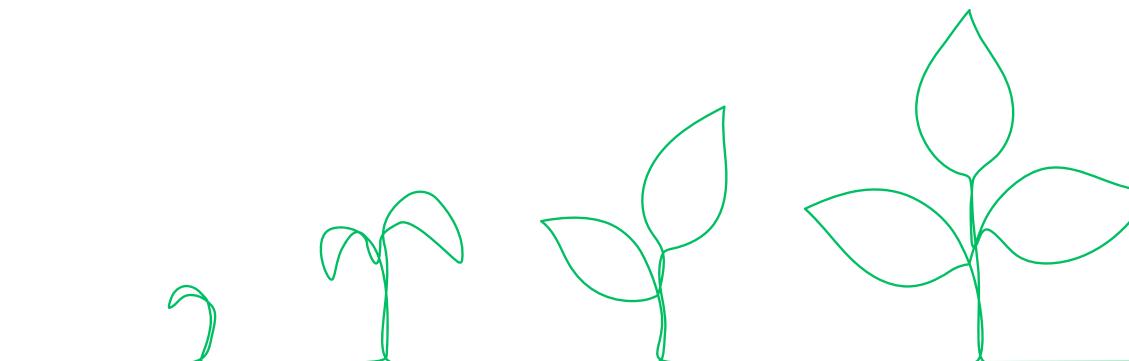
トレードルールを構築するプロセス



ステップ2: エントリーと決済のルールを設定する

過去の相場を分析し自分に合ったルールを作成します

- ・チャートパターンを活用する(例:ダブルボトム、ヘッド&ショルダー)
- ・テクニカル指標を用いる(例:MACD、ボリンジャーバンド)
- ・ファンダメンタルズ分析を取り入れる(例:重要経済指標の発表前後の戦略)





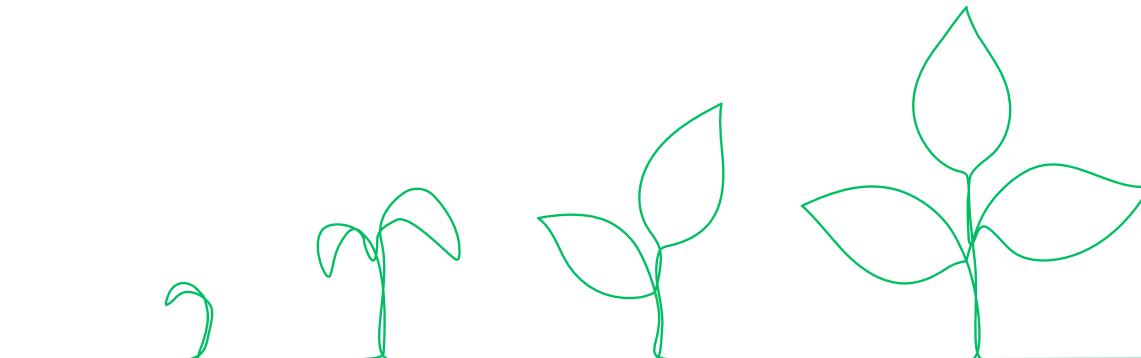
トレードルールを構築するプロセス



ステップ3: 資金管理のルールを作る

利益を守るために適切なリスク管理を行う

- ・1回のトレードでの損失率を決める
- ・リスクリワード比を意識する(最低でも1:1以上を目指す)
- ・最大ドローダウンを決める(一定の損失を超えたたら取引をストップ)





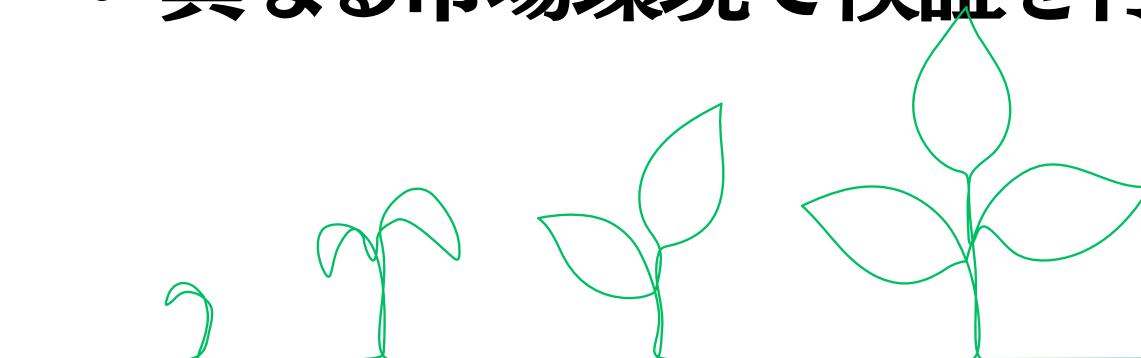
トレードルールを構築するプロセス



ステップ4: 過去検証を行う

過去のデータを使ってルールの検証を行い改善点を見つける

- ・各項目別に検証を始める。(エントリー→エグジット→全体)
- ・過去3年以上のデータを使用する
- ・自分が監視する時間帯のみで検証を行う
- ・異なる市場環境で検証を行う(例:トレンド相場、レンジ相場)





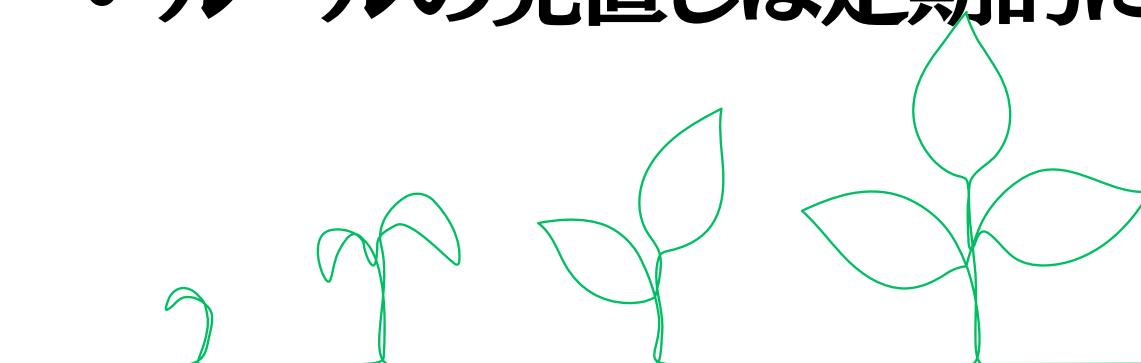
トレードルールを構築するプロセス



ステップ5: 実際に運用しながら微調整

リアル相場でルールを試し必要に応じて修正を加える

- ・ デモ口座で事実確認をする(検証とリアルとのギャップ確認)
- ・ ルールを守れたかをトレード日記に記録する
- ・ リアル口座で少額の資金でルールを試す
- ・ ルールの見直しは定期的に行う(月に1回など)





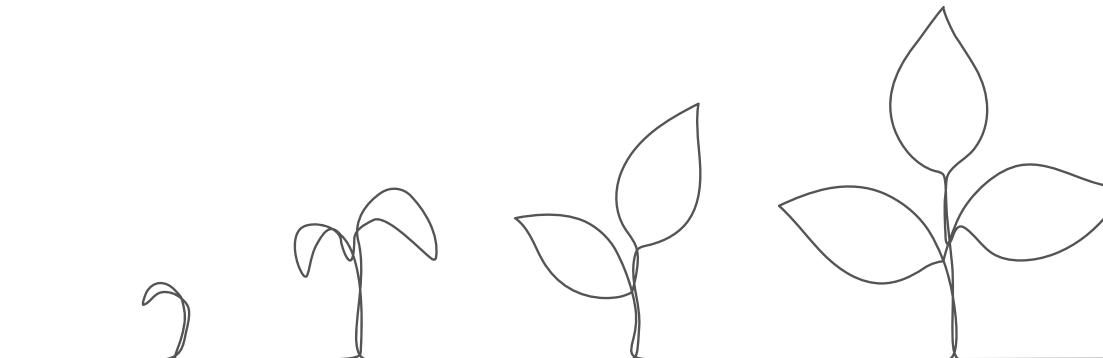
まとめ





まとめ

トレードにおいて最も大切なのは、感情に左右されず、一貫した判断を下すことです。そのためには、自分自身のトレードルールを明確に構築し、それを忠実に守る姿勢が欠かせません。ルールがあれば、迷いや不安に流されることなく、冷静に相場と向き合うことができます。そしてそのルールを検証と改善を繰り返しながら、継続的に守り続けることで、短期的な勝ち負けに一喜一憂することなく、長期的な視点で安定した利益を積み上げていくことが可能になります。``



プロトレーダーを目指す者が本気で磨ける場所



知識は力に! 検証は武器に! 学びを仕組みに! 勝ちを習慣に!